

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年 1月28日

開催日	平成30年 1月25日	時 間	10:00~12:00
場 所	金沢区民活動センター		14名
講 師	真田 雅行氏	作成者	堀井 克子
テーマ	第二学習 艱難実録(函館戦争) ⑤		
概 要	<p>●今回の学習は江戸より会津へ帰着への経緯の記述を読み進める。</p> <p>○将監の伝言、江戸に残ったもの、早々に立ち戻るようにのご沙汰。</p> <p>○一同評議、種々想定に会津万一の降伏などの折、君公宇都宮へと御供など家臣の手筈など万全の動きの内容を示す。</p> <p>●続いて江戸での動きとなり、官軍とのかかわりとなる。</p> <p>○江戸御城御渡し後、官軍総督、有栖川宮様入城により官軍の人数も増し見付の数々をはじめ川口の固めなど市中の固めも厳重になり、旧幕方の面々、潜伏も難しくなる。</p> <p>○5月15日暁より官軍東叡山へ押し寄り彰義隊と東叡山に籠って居たものと奮戦したが、叶わず敗軍となり四方へ散る。</p> <p>○輪王寺宮様何れへのお立ち退きかわからず。</p> <p>○桑藩、会藩、応援に集まる。</p> <p>○16日より上野瓦解以後の官軍は潜伏者探索に厳しさを増してくる。</p> <p>ゆえなく切害されるもの多く出る。</p> <p>○その後、危うき所を免れ潜伏しているものもでる。</p> <p>○東叡山輪王寺宮様は徳川家にご尽力。</p> <p>○彰義隊、其の外旧幕方、上野山内に詰居し上野の人数は多勢となる。</p> <p>○小子、市中の潜伏難しくなり、外へ転居する機をみる。その主意、君公進退しかしお供の人数10人ばかりの現状。</p> <p>○小子は13日より周旋に14日会。桑人と落ち合う。</p> <p>○会津表へ上野瓦解の委細申し上げる。</p> <p>○その後のご沙汰に江戸残りのものと小子をはじめ残らず便にて会津へ。</p> <p>○出帆の長鯨丸は旧幕の艦で輪王寺宮様、其の外会藩、旧幕人、諸家脱走人上野脱走人等多人数乗り込む。</p>		
次回予定	平成30年 2月 8日 10:00~12:00	於:	金沢公会堂リハーサル室 第1学習 野嶋浦 鈴木家文書 ③